

ネットワークアンケート ②②

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

Q. 糖尿病患者さんが健康食品やトクホを使用することについて、どのようにお考えですか？

日々の生活のなかで目にする健康食品や特定保健用食品(以下略トクホ)。なかには、糖尿病患者さんの心をくすぐる血糖に関連した商品などもよく見受けられます。折からの健康ブームで、使用する生活者は多いようですが、糖尿病患者さんはどのように捉えているのでしょうか。

[回答数:医療スタッフ68(医師14、看護師20、准看護師1、管理栄養士17、薬剤師5、保健師3、臨床検査技師4、理学療法士2。うち日本糖尿病療養指導士18)、患者さんやその家族260名(食事療法を行っている190、運動療法を行っている164、経口薬を服用している118、インスリン療法156/重複回答有)]

*ここでいう、いわゆる「健康食品」とは、「健康食品」「健康補助食品」「栄養補助食品」「栄養強化食品」「栄養調整食品」「健康飲料」「サプリメント」など、広く健康の保持増進に資する食品として販売されている一般食品です。

健康食品では46%、トクホでは68%が「患者さんの状態が良ければ使用してもよい」と、最も高かったものの、「使用しないほうがよい」「使用すべきでない」を合わせると、健康食品では53%、トクホでは28%となり、健康食品では否定派が勝る結果でした。糖尿病患者さんに指導が必要だと思うか？については、半数が「患者さんによっては必要」、4割が「患者さん全員に必要」と答え、こういった食

品とのつきあい方については、医療スタッフも介入する必要があると多くの方がお考えのようです。一方、指導の状況をうかがってみると、「糖尿病教室で指導」は約2割、「食事療法の指導」では約3割で、もっとも多かったのは「個別に質問があった際」、「主治医が必要に応じて」でした。

Q. 貴院では、健康食品やトクホの適正な使用に関して指導を行っていますか？ (複数回答可/n=68)

個別に質問があった際に行っている 76%

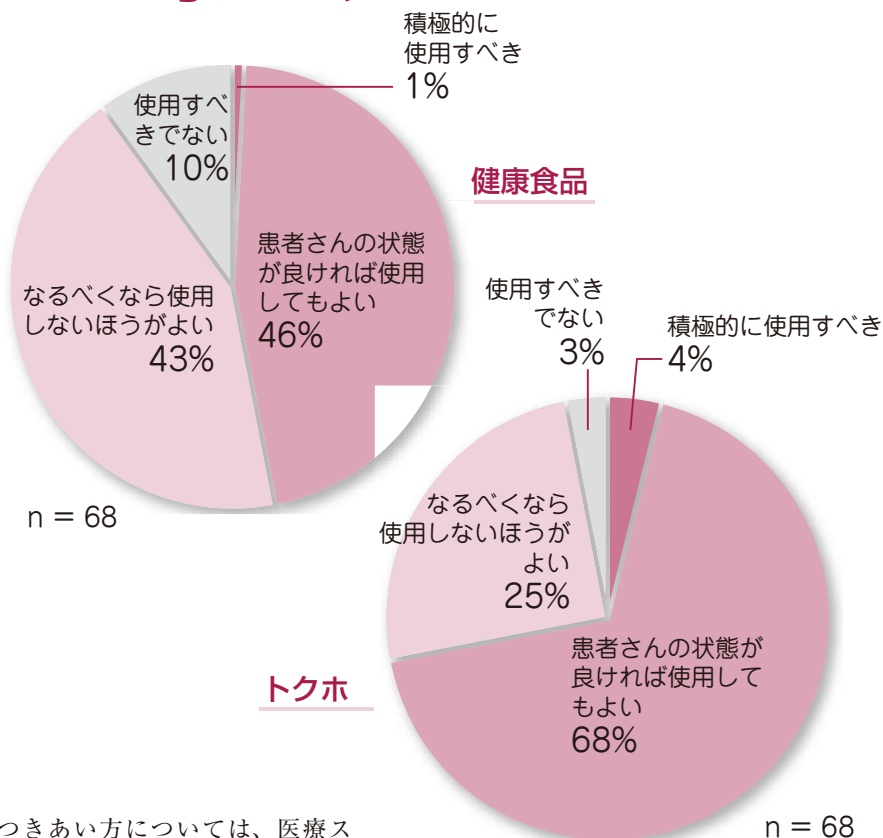
主治医が必要に応じて行っている 47%

食事療法の指導の際に行っている 31%

糖尿病教室で行っている 18%

特に行っていない 8%

わからない 5%



意見欄では、「食事療法をメインに据えるべきであり、食事療法のかわりに利用するのはナンセンス」「使用することによって、適切な治療や指導を受ける機会を逃すことが一番の問題」といった心配の声が多くみられました。

Q. 健康食品やトクホを使用してもよい理由、使用しないほうがよい理由 (一部抜粋)

- 基本の食事・運動療法をおろそかにしないのであれば、積極的に治療に取り組もうという意欲の一つと思いたい。(管理栄養士)
- 使用制限をしたくないが、専門家として治療や経済的な影響が出ないように教育する必要がある。(大学教員)
- カロリー制限が守れない方で、「トクホ」などに関心を持ち、過剰摂取している食品のかわりに利用される場合、等で寄与していることもあるので、治療の支障にならない範囲であれば可。(医師)
- 総合的な食事療法の管理下で、使用を検討すべきと思う。(臨床検査技師)
- 使用することで患者さんが過度に安心し、食生活や運動などのコントロールを乱した例を経験しているので、なるべく使用しないほうがよいと考える。(看護師・CDE)